

# 2019 Iwao Furusawa 赤



「2019 Iwao Furusawa 赤」は、日本固有の葡萄品種 マスカット・ベリーA やブラック・クイーンと、伝統的なボルドー品種 メルロやカベルネ・ソーヴィニオンなどを野生酵母で醗酵させました。日本各地の優れた葡萄栽培家の皆さんのおかげで、日本の食卓によく合う美味しい日本の赤ワインができました。古澤巖の演奏を聴きながら飲みたい赤ワインです。

葡萄品種	品種割合	産地	収穫日	使用割合
メルロ	30%	山形県上山	2019/10/03, 09, 10	18%
		長野県塩尻市 長野県高山村	2019/10/01, 10, 11	11%
		山梨県甲州市勝沼	2019/09/17	1%
マスカット・ベリーA	28%	山梨県甲州市勝沼 山梨県韮崎市穂坂	2019/09/17, 24, 25 10/01, 08, 16 11/04	18%
		栃木県栃木市大平	2019/09/30, 10/09	8%
		長野県安曇野	2019/10/07	2%
カベルネ・ソーヴィニオン	26%	山形県上山	2019/10/23, 24, 25, 28	17%
		長野県高山村	2019/10/22, 24, 25, 29	9%
ブラック・クイーン	15%	長野県安曇野	2019/09/30, 10/10	15%
カベルネ・フラン	1%	長野県高山村	2019/10/29	1%
収穫時の糖度 (平均) 約19.5°Brix			収穫方法：手摘み	

**醗酵** 熟した葡萄を選果し、良い房だけを除梗、タンクに入れ野生酵母で醗酵させる。十分に皮から成分を抽出するため、高めの温度を維持し、ルモンタージュしながら約1~4週間、醸した後マストを搾り、ワインを皮と種から分けた。また一部は約1~2週間 MC (マセラシオンカルボニック) 行った後プレスした。木樽、オークタンク、ステンレスタンク、プラスチックタンクに移し野生乳酸菌による MLF (マロラクティック醗酵) を促す。

**熟成** 木樽および各タンクで約5~7カ月熟成。澱引き後、清澄せず、濾過を行った。

**ビン詰** 濾過を行いながらビン詰。  
 ビン詰日：2020/04/20~24, 05/11~16  
 アルコール：11.4% 酸度：0.6 g/100 ml. 残糖：0.1%

**テイस्टィングコメント** ラズベリー、イチゴ、ダークチェリー、ミントに加えカカオパウダーやアーシーな香り。口当たりは柔らかく、オーク樽からくる上品な甘み、さわやかな酸と溶け込んだやさしいタンニンがほのかな苦みと共に口中に広がり、染み入るような余韻が心地いい。

**料理との相性** 蛸とフェネルのマリネ、チリコンカン、山うどの味噌炒め、ゴボウとトリッパのトマト煮込み、アランチーニ、ロコモコ、鰯の照り焼き、八丁味噌のカツサンド、ざるそば、プレッツェル、ブリーなどの白カビやウォッシュチーズ、洋梨のコンポート

**飲み頃** 2020年~2023年 フレッシュな果実味のある味わいが続く。  
 2023年~ 熟成により味わいにまとまりでてきて、熟成感と香ばしさが増す。  
 暑い時期は少し冷やしても楽しめるフードフレンドリーなワイン。

2021/04/15